

2022年度 第34回 全道U-15フットサル選手権大会 道東ブロック予選 開催要項

1. 主 旨 日本フットサル界の将来を担うジュニアユース年代のフットサル技術の向上と健全な心身の育成を図ると共に、全道 U-15 フットサル選手権大会の道東ブロック代表として出場するチームを決定する。
2. 名 称 2022年度 第34回 全道U-15フットサル選手権大会 道東ブロック予選
3. 主 催 公益財団法人北海道サッカー協会、一般社団法人北海道フットサル連盟
4. 主 管 一般社団法人十勝地区サッカー協会
5. 後 援 北海道、北海道教育委員会、公益財団法人北海道スポーツ協会、新得町、新得町教育委員会、新得サッカー協会
6. 期 日 2022年11月12日(土)、13日(日)
7. 会 場 新得町総合体育館(サホロアリーナ)
住所:新得町新内西6線145 TEL:0156-64-6318
8. 参加資格
 - (1) フットサルチームの場合
 - ① (公財)日本サッカー協会(以下、「JFA」とする。)に「フットサル3種」、または「フットサル4種」の種別で加盟登録した単独のチームであること(準加盟チームを含む)。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。JFAに承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。なお、適用対象となる選手の年齢は、「フットサル4種」年代のみとし、「フットサル3種」及びそれ以上の年代の選手は適用対象外とする。
 - ② 前項のチームに所属する2007年4月2日以降に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
 - ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。
 - (2) サッカーチームの場合
 - ① JFAに「3種」、「4種」、または「女子」の種別で加盟登録した単独のチームであること(準加盟チームを含む)。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。JFAに承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、「3種」、「女子」チームは、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。なお、適用対象となる選手の年齢は、「4種」年代のみとし、「3種」及びそれ以上の年代の選手は適用対象外とする。
 - ② 前項のチームに所属する2007年4月2日以降に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
 - ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。
 - (3) 上記(1)または(2)で主体となるチーム以外の選手が8名未満の場合、複数チームによる「合同チーム」の大会参加を、以下の条件により認める。
 - (ア)主体となるチーム及びその選手は、それぞれ上記①、②を満たしていること。
 - (イ)合同するチームの選手は、2007年4月2日以降に生まれた選手で、JFAに登録されていること。なお、選手が所属するチームの種別・種別区分は問わない。サッカーチームに所属する選手の合同も認める。
 - (ウ)極端な勝利目的の為の合同チームでないこと。
 - (エ)合同チームとしての参加を北海道サッカー協会フットサル委員長が別途了承すること。
 - (オ)大会参加申込の手続きは、それぞれのチームの代表者が協議の上、主体となるチームが行う。
 - (4) 中学校体育連盟加盟チームは、その中学校に在籍し、かつ、JFAの女子加盟チーム登録選手を、移籍手続きを行うことなく、本大会に参加させることができる。ただ

し、登録している女子加盟チームが本大会に参加している場合を除く。

- (5) 本大会の地区予選を通して、選手は、他のチームで参加していないこと。所属するチームが複数のチームで参加する場合、またはサッカーチームとフットサルチームの両方に所属し、両方のチームが参加する場合を含む。
- (6) 選手および役員は、本大会において複数のチームで参加できない。
- (7) 本大会の地区予選を経て、所轄の地区協会が認めたチームであること。
- (8) 下記(公財)北海道サッカー協会フットサル大会登録料を所属地区サッカー協会において納入完了していること。
 - ① フットサルチームの場合 : 登録料 2,000 円
 - ② サッカーチームの場合 : 登録料 4,000 円

9. 参加チームとその数

参加チームは、次により選出された 16 チームとする。

前年度地区予選参加チーム数による比例配分で各地区出場枠を決定する。

- ・釧路地区 : 3チーム
- ・十勝地区 : 7チーム
- ・根室地区 : 1チーム
- ・網走地区 : 5チーム

10. 大会形式

- (1) 1 グループ 4 チームとして、4 グループで 1 次ラウンド(総当り戦)を行う。
- (2) 決勝ラウンドは、1 次ラウンド各グループ 1・2 位の計 8 チームを、1 グループ 4 チームの 2 グループに分け、総当り戦で行う。
- (3) 決勝ラウンドの組み合わせは主管地区協会(大会事務局)による抽選とし、1 次ラウンドの同一グループ以外の 1 位と 2 位が対戦するよう配慮する。
- (4) 全道大会への出場は、決勝ラウンドの 1 位・2 位とし、出場順は、決勝ラウンドの成績で決定する。ただし、すべて同率の場合は抽選で決定する。決勝ラウンド 3 位・4 位チームをフォローアップチームとする。

11. 競技規則

大会実施年度の(公財)日本サッカー協会フットサル競技規則による。

12. 競技会規定

以下の項目については、本大会で規定する。

- (1) ピッチサイズは、原則として 36m×18mとする。
- (2) 使用球は、フットサル用 4 号ボールとする。
- (3) 交代要員の数は、9 名以内とする。
- (4) ベンチに入ることのできる人数は 12 名以内(交代要員 9 名、役員 3 名以内)とする。
- (5) 試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止になった場合には、その帰責事由のあるチームは 0 対 5 または、その時点のスコアがそれ以上であればそのスコアで敗戦したものとみなす。
- (6) ユニフォーム
 - ① JFAのユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
 - ② フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム(シャツ、ショーツ、ソックス)を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに必ず携帯すること。
 - ③ チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものであること。
 - ④ フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。
 - ⑤ シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
 - ⑥ 選手番号については 1 から 99 までの整数とし、0 は認めない。1 番はゴールキーパーが付けることとする。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手

固有の番号を付けること。

- ⑦ ユニフォームへの広告表示については、JFAの承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。
- ⑧ その他、ユニフォームに関する事項については、JFAのユニフォーム規程に則る。

(7) 靴

キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が鉛色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのもの(スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない)。なお、チーム役員にも適用する。

(8) ビブス

交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。

- (9) 試合時間は、1次ラウンド(総当り戦)20分間(前後半各10分間)、決勝トーナメントは30分間(前後半各15分間)のランニングタイムとする。また、ハーフタイムのインターバルは、1次ラウンド5分間、決勝ラウンド7分間(第1ピリオド終了から第2ピリオド開始前まで)とする。

- (10) 競技時間内で勝者が決しない場合は、1次及び決勝ラウンド(総当り)は、引き分けとする。

- (11) 1次ラウンド決勝ラウンドの順位決定方法は、勝ち点の多い順から上位とする。勝ち点は、勝ち3点、引き分け1点、負け0点とする。但し、勝ち点の合計が同一の場合は以下の項目に従い順位を決定する。

- ① 当該チーム間の対戦成績(勝敗)
- ② 当該チーム間の得失点差
- ③ 当該チーム間の総得点数
- ④ グループ内での総得失点差
- ⑤ グループ内での総得点数
- ⑥ PK方式(1チーム5名。決しないときは一方のチームが他方より多く得点をあげるまで行う。)により決定する。

⑦ 抽選

※「当該チーム」とは、グループ内で勝点合計が並んだチームのことである。

- (12) タイムアウトは、全ての試合に適用しない。

準決勝及び決勝に配置する。

13. マッチウェアオフィサー

14. 懲 罰

- (1) 本大会は、(公財)日本サッカー協会が定める懲罰規程に基づき、本大会に係る懲罰問題を処理するため、大会規律委員会を設置する。

- (2) 本大会の地区予選は、懲罰規程上の同一競技会とみなし、予選終了時点で未消化の出場停止処分は、本大会の試合にて順次消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。

- (3) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。

- (4) 本大会期間中に警告の累積が2回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。

- (5) 前項により出場停止処分を受けたとき、また、本大会の終了のときに、警告の累積は消滅する。

- (6) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合(ただし、第34回全道U-15フットサル選手権大会兼JFA第28回全日本U-15フットサル選手権大会北海道代表決定戦に出場するチームはこの大会で行うこと。)にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。

- (7) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の大会規律委員会が決定する。

15. 参加料等

参加料 22,000円(消費税込)、審判不帯同料 16,500円(消費税込)

- .16 参加申込
- (1) 参加申込書に記載し得る人員は、選手 20 名・役員 4 名とする。
 - (2) 参加申込は所定の申込書(Excel)に必要な事項を記入し、プライバシーポリシー同意書(Word)とともに期日までに申込先(A)宛てに E-mail で送付すること。
(所属地区サッカー協会を通じて、申込先(B)、(C)に送付される。)
 - (3) 参加料 22,000 円(消費税込)は申込と同時に申込先(C)へ納入すること。
 - (4) 親権者の承認印のある親権者同意書を申込先(B)に送付すること。なお、2022 年度中に提出済みの場合は不要。
 - (5) 申込締切日 2022 年 11 月 8 日(火) 17 時必着(厳守)
 - (6) 前項の申込締切日以降の参加申込内容の変更は原則認めない。
 - (7) 「新型コロナウイルス感染による出場辞退について参加申込後の返金は行わない。」
 - (8) 申込先
 - (A) 所属地区サッカー協会事務局
 - (B) (公財)北海道サッカー協会
〒062-0912 札幌市豊平区水車町 5 丁目 5-41
北海道フットボールセンター 内
TEL 011-825-1100 FAX 011-825-1101
・親権者同意書(郵送)
 - (C) (一社)十勝地区サッカー協会
〒080-0018 帯広市西 8 条南 18 丁目 3-3 大西ビル 2F
TEL:0155-21-6626 FAX:0155-24-7881
E-mail:tfa@tokachifa.com
・懲罰処分についてのアンケート
[大会参加料等振込口座]
銀行名 : 帯広信用金庫中央支店
口座番号 : 普通口座 1213922
口座名 : (一社)十勝地区サッカー協会第 3 種委員会
※振込用紙に必ずチーム名、監督名を記載すること。
17. 組合せ 組み合わせは、主管地区サッカー協会において抽選し決定する。なお、組み合わせ結果は、主管地区協会より各地区協会と参加チームに E-mail にて連絡する。
18. 帯同審判
- (1) 参加地区サッカー協会は、3 級以上の公認フットサル審判員を 1 チームにつき 1 名帯同させること。その氏名・級を参加申込書に記入すること。
 - (2) 帯同審判員は、2 日目までその業務に当たるものとする。
 - (3) 帯同審判員は、役員(監督は除く)と兼ねることはできる。
 - (4) 審判員を帯同出来ない時には、不帯同審判料 16,500 円(消費税込)を(一社)十勝地区サッカー協会に納入すること。
19. 監督会議
- (1) 日 時 : 2022 年 11 月 12 日(土) 8 時 30 分から
 - (2) 会 場 : 新得町総合体育館 (会議室)
20. 開会式 監督会議と兼ねる。
21. 閉会式 実施しない。
22. 負傷及び事故の責任
- (1) 大会期間中の負傷及び事故の責任は、当該チームが負うものとする。なお、医師及び救急用具の準備は各チームの責任において行うこととする。
 - (2) 選手はスポーツ保険または、それに準じた保険に加入していること。
23. 新型コロナウイルス感染症対策
- (1) 本大会は、大会期間を通じ、「会場感染対策担当者」および各チームの「感染対策担当者」を設置する。試合前、会場感染対策担当者とは各チームの感染対策担当者でミーティングを実施すること。ガイドラインにおいて、これらの責任者や担当者の擁立が不要となった際には、その通りとする。
 - (2) 本大会において、「会場感染対策担当者」は主管地区第3種委員長と会場運営責任者が務める。
 - (3) 選手・チーム役員・審判員・大会運営等関係者・引率保護者など会場にいる全ての者は、会場感染対策担当者および各チームの感染対策担当者の判断・指示等に従わなければならない。

- (4) 本大会は、感染対策のため無観客で実施する。
- (5) 本大会実施にあたっては、(公財)北海道サッカー協会によって更新される「新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン」最新版及び「新型コロナウイルス感染対策を踏まえたフットサル活動マニュアル」最新版を遵守し、関係者は健康チェックシートを都度会場運営責任者に提出すること。ガイドラインにおいて、健康チェックシート提出義務が不要となった際は、その通りとする。
- (6) 今後の新型コロナウイルス感染症に対する国・道の対応によっては、本大会を中止する場合がある。

24. そ の 他

- (1) マッチコーディネーションミーティング
各試合競技開始時間の 60 分前(ただし、第 1 試合は試合開始 30 分前)に、運営スタッフ、両チームの監督及び審判員とマッチコーディネーションミーティングを行う。このミーティングにおいて、両チームのユニフォームの決定、メンバー提出用紙の回収、選手証の確認、諸注意事項の説明等を行う。
- (2) 選手証
各チームの登録選手は、原則としてJFA発行の選手証を、持参しなければならない。ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。
※選手証とは、JFA WEB 登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したものであり、スマートフォンや PC 等の画面に表示したものは原則として認めない。
- (3) チームの監督は、監督会議の出席及び各試合ともベンチに入ることを義務付ける。ただし、やむを得ず、監督会議に出席することが出来ない場合又は試合のベンチ入りが出来ない場合は、速やかに所属地区協会を通じて電子メールにより主管協会に理由及び代理出席者(参加申込書記載の役員から)氏名を届け出ること。また、不測の事態により、当日急遽欠席する場合は、電話等で主管協会に連絡すること。
なお、監督が無断欠席の場合は、そのチームは原則試合出場を認めないものとする。
- (4) 選手の資格に関して不都合な行為等があった場合、そのチームの出場を停止する。
- (5) 震災等、不測の事態が発生した場合には、本大会運営委員会において協議の上対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。
- (6) 競技時間中、ウォーミングアップ時間中を問わず、自分のベンチにおいては摂取可能な飲料は「水のみ」に限定する。
- (7) 成績上位4チームには、2022年12月10日(土)~11日(日)、札幌市で開催される 第34回 全道U-15フットサル選手権大会 兼 JFA第28回 全日本U-15フットサル選手権大会北海道代表決定戦への参加を義務づける。ただし、成績上位4チームのいずれかのチームが新型コロナウイルス感染症の影響を事由に出場を辞退した場合は、フォローアップチームの成績により、繰り上げて参加することができる。
- (8) 練習等行動を共にしたエントリー外選手や関係者が、本大会開始前7日以内に下記いずれかの状況となった際には、(公財)北海道サッカー協会事務局に報告すること。(主催者、もしくは主管地区協会は、その状況に応じて当該チームの大会参加の可否について検討する。)
 - ① 発熱等の健康異常がおきた場合
 - ② PCR検査や抗原検査で陽性と判定された場合
 - ③ PCR検査の判定を待っている場合
 - ④ 濃厚接触者と判定された場合。
- (9) 組み合わせ決定後に参加者が参加を辞退した場合、および主催者もしくは主管地区協会が新型コロナウイルス感染リスクを鑑みて参加を認めない場合も参加辞退と同様の扱いとし、既に支払われた参加料については返却しないこととする。

